

栃木県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（令和元年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	真岡市	9,396,964	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル (C:12-15及びその混合物) 9,365,300	マンガン及びその化合物 9,646	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニル エーテル 8,840
2	さくら市	7,758,411	EPN 7,458,000	ポリ塩化ビフェニル類(PCB) 228,000	チウラム(チラム) 25,300
3	河内郡上 三川町	7,377,881	有機スズ化合物 7,150,000	マンガン及びその化合物 184,600	亜鉛の水溶性化合物 35,970
4	宇都宮市	1,900,333	マンガン及びその化合物 1,073,800	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩 を除く。) 457,250	2,2-ジプロモ-2-シアノアセトアミド 149,400
5	小山市	264,325	マンガン及びその化合物 209,300	亜鉛の水溶性化合物 25,740	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 22,080
6	佐野市	187,110	マンガン及びその化合物 158,600	亜鉛の水溶性化合物 23,430	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 3,840